

南青協便り 第 213 号



南米産業開発青年隊協会会報 Boletim n.213:Seinentai do Brasil

2022 年 02 月 03 日発行

Edição: 03 de fevereiro de 2022



12月18日、忘年会参加者、山形県人会会館会議室



1月16日、月例会参加者、山形県人会会館会議室

一、Fotos da Capa 表紙写真 :

Acima: Participantes de Bonenkai, 18 de dezembro de 2021

Abaixo: Participantes da Reunião Mensal, 16 de janeiro de 2022

上 : 12 月 18 日、忘年会参加者

下 : 1 月 16 日、月例会参加者 1

一、Índice 目次 2

一、12 月例会・忘年会報告 サンパウロ 会長 渡辺 進 ... 3

一、1 月例会と有田稔さんの 49 日法要 サンパウロ 会長 渡辺 進 ... 4

一、【会計報告】11 月分、12 月分 サンパウロ 8 期 長田譽歳 ... 5

一、8 期野末郁雄氏からの手紙。2021 年度月別会計報告
サンパウロ 8 期 長田譽歳 ... 6

一、2021 年度会費納入者・特別寄付者 サンパウロ 8 期 長田譽歳 ... 7

一、三名の消息 サンパウロ 8 期 長田譽歳 ... 8

一、FOTOS RECEBIDAS DO PARANÁ パラナ州から写真を受信 長田譽歳 ... 9

一、中国「ゼロコロナ」政策の恐ろしさ サンパウロ 9 期 貝田定夫 ... 10~12

一、ワクチンは変更ウイルスに効果ない サンパウロ 9 期 貝田定夫 ... 12~14

一、ミナス州ポーゾ・アレグレ市のアルミ缶工場 LATASA ラターザ社
ベロ・オリゾンテ 9 期 荒木昭次郎 .. 15~17

一、自分史 (32) ポルトガル 10 期 岡井よししげ ... 18~23

一、川柳 3 4 句 ポルトガル 10 期 岡井よししげ ... 24~25

一、コロナ対策 ポルトガル 10 期 岡井よししげ ... 26~28

一、JAPANESH ジャパニッシュ フォス・ド・イグアス 単独 齋藤信夫 .. 29~32

一、我が家の庭にある花です フォス・ド・イグアス 単独 齋藤信夫 ... 32

一、二原稿が届きました サンパウロ 6 期 盆子原国彦 ... 33

一、被爆者 坪井直氏、96 歳逝去 広島県 6 期 三戸伸晃 ... 33~36

一、世界一週無賃乗車の旅 広島県 6 期 三戸伸晃 ... 37~42

一、IPOMÉIA 朝顔 サンパウロ 8 期 長田譽歳 ... 43~46

一、FLOR DA NOITE (フロール・ダ・ノイチ) が咲きました
サンパウロ 8 期 長田譽歳 ... 47

一、【総会のお知らせ】 会長 渡辺進 ... 48

【編集委員】 【名簿訂正】 【お願い、お知らせ】 【編集後記】 ... 48

【訃報】 有田稔様 (6 期) 2021 年 11 月 30 日逝去

神田清美 (6 期) 2020 年 2 月 22 日逝去



12月例会・忘年会報告

会長 渡辺進

皆様お元気でお過ごしのことと思います。今年最期の月例会が18日(土)に山形県人会館で開かれました。議題などは次のとおりでした。

1) 11月の会計は承認されました。

2) 6期の神田清美さんが亡くなり奥様もお亡くなりになったとのことですが詳しい事はまだわかりません。わかり次第会報でお知らせします。

3) 今年の会費納入者は39人で去年は50人でした。

4) 新年の初会報が1月末に発行予定ですのでそれを踏まえ、2022年1月の例会は16日(日)に予定する。鈴木源治さんに山形県人会館会議室の予約をお願いします。

5) 2022年総会は2月20日(日)を予定する。

鈴木さんに山形県人会館の予約(必要なら日程調整)をお願いします。

出席隊員(敬称略)は鈴木源治(6期)、温水昌介(6期)、盆子原国彦(6期)、伊藤和夫(7期)、小山徳(8期)、長田譽歳(8期)、渡辺進(単独)でした。婦人は6期温水夫人、6期鈴木夫人、7期菊池夫人、渡辺の女房でした。

続いて忘年会に移りました。美味しい料理と飲み物で、和気あいあいと楽しいひと時を過ごしました。一杯(イッパイ)飲んで仲間との気の置けないおしゃべりは至福のひと時でした。来年の健康留意を約束して解散しました。



ご馳走の写真です



1月の例会と有田稔さんの49日法要

会長 渡辺進

1月16日(日)11時から山形県人会会館会議室で1月の例会がおこなわれました。議事は次のとおりです。

- 1) 2021年12月の会計報告は承認されました。
- 2) 2022年定期総会は2月20日(日曜日)に決まりました。会報とメール、電話等で会員に連絡をおねがいます。
- 3) 総会進行と進行表の作成を鈴木源治さんをお願いする。
- 4) 総会での21年会計報告を長田さんをお願いする。
- 5) 総会では21年業務報告と22年行事予定を渡辺から報告する。
- 6) 会報第212号の6頁(会計報告)での猪口さん(6期115番)の名前が違っているので訂正のお願いをする事。
- 7) 総会時の料理の量はおよその出席者数の把握後に決める。
- 8) 渡辺の養殖ピラルクーの刺身と、さらにピラルクー鍋に深谷ねぎをたっぷりいれて美味しくして皆さんに食べていただくよう予定しています。

有田稔さん(11月30日逝去)のオンライン49日法要に月例会参加者一同で午前10時から参列致しました。

出席者は鈴木源治さん、長田譽歳さん、小山徳さん、猪口光盛さん、渡辺でした。

南青協月間会計報告(11月分)

2021年11月30日迄

Data	Descrição	Débito	Crédito	Saldo
	10月よりの繰越分			28.111,46
23/Nov	会報用 Envelope(200)	72,00		
24/Nov	会報 212号 Copia	2.040,00		
25/Nov	会報 212号 Correio	621,10		
27/Nov	山形県人会会館月例会 aluguel	120,00		
	Rendimento		131,12	
	Total	2.853,10	131,12	25.389,48

南青協月間会計報告(12月分)

2021年12月31日迄

Data	Descrição	Débito	Crédito	Saldo
	11月よりの繰越分			25.389,48
08/Dez	年会費 8期野末郁雄氏(222)		200,00	
18/Dez	山形県人会会館月例会(aluguel)	120,00		
18/Dez	年会費 6期温水昌介氏(132)		200,00	
18/Dez	忘年会食事用備品	29,00		
18/Dez	忘年会 11人,余剰金		128,53	
27/Dez	年会費 7期山崎薫氏(199)		200,00	
27/Dez	寄付 7期山崎薫氏(199)		100,00	
	Rendimento		131,73	
	Total	149,00	960,26	26.200,74

Bradesco の支店番号と口座番号		Agência 1480 Conta 33226-7 Takatoshi Osada Susumu Watanabe CPF 698.506.588-00 Cheque の送り先 Takatoshi Osada Rua Rishin Matsuda,467 São Paulo - SP CEP 04371-000
04 Jan /2022		
Extrato Conta Corrente		
Takatoshi Osada Susumu Watanabe		
Agência 1480 Conta 0033226-7		
Saldo	26.200,74	

【訂正】 前号の会計報告9月分の記載中、猪口光盛氏の名前が間違っていました。光森ではなく光盛に訂正いたします。

野末氏(8期)から会費納入に当たり頂いた手紙です

前略 よき南青協便りをお届けして下さいまして大変有難う御座います。
今年度最後の会報212号昨日受け取りました。有難う御座いました。
志方さんをはじめ編集委員の方々の記事構成大変ですね、頭の下がる思いです。
また新たにオミクロン株が現れ、この先又色々違ったヴァイールスが現れることを思うとこの世の中は如何になるのでしょうか。今年も終わりに近づきました。
青年隊諸兄の皆様には新年も良き年で有ります様祈願いたします。

今年度の会費お送り致します。

2021年12月8日 野末郁雄

2021年度月別会計報告

MÊS	DÉBITO	CRÉDITO	SALDO
SALDO 31/12/2020			26.635,48
JANEIRO	2,95	106,00	26.738,53
FEVEREIRO	2.410,00	1.256,09	25.584,62
MARÇO	231,05	404,75	25.758,32
ABRIL	2.061,00	1.104,32	24.801,64
MAIO	2.826,75	1.707,49	23.682,38
JUNHO	110,00	1.717,55	25.289,93
JULHO	3.518,80	2.301,34	24.072,47
AGOSTO	470,00	1.309,44	24.911,91
SETEMBRO	1.351,64	5.799,68	29.359,95
OUTUBRO	2.466,05	1.217,56	28.111,46
NOVEMBRO	2.853,10	131,12	25.389,48
DEZEMBRO	149,00	960,26	26.200,74
Total	18.450,34	18.015,60	26.200,74

2021年度会費納入者及び特別寄付者（敬称略）

次期	氏名	人数
一次	磯中、佐々木、池辺	3
二次	三沢	1
一期	大島	1
二期		
三期		
四期	摂津、馬渡、曾我	3
五期	馬場、菊池、佐藤	3
六期	鈴木、猪口、温水、渡辺(尊)、盆小原、森、三戸、武井	8
七期	伊達、吉田、藤岡、鈴木、佐竹、菊池、橋本、伊藤、山崎	9
八期	野末、小山、小島、長田、山木、志方、田中、早川、北田	9
九期	荒木、渡辺、貝田、千田、津田、樋口、板垣	7
十期	岡井、柳瀬、亀井、渡辺、斎藤、阿部、平島、	7
日本	日本国内青年隊 OB 鋸屋（特別寄付）	1
	合計人数	52



三名の消息

2022年1月10日 8期 長田譽歳

6期(n.142) 神田清美さんが2020年2月22日に心筋梗塞にて亡くなりました。その2ヶ月後に後添えの奥さんもコロナウィルスで亡くなったとの事ですので、神田さんの消息が判明するのに遅れてしまいました。

ご冥福をお祈りいたします。

6期(n.125) 有田稔さんが2021年11月30日に Diadema の老人ホームにて亡くなりました。持病の糖尿病が悪化し、肺炎を併発され亡くなりました。今は円光寺の慰霊碑で安らかに休まれている事と思います。

1月16日の山形県人会会館での定例月例会に於いては、有田さんの49日のオンライン法要に参会者一同で参加する予定になっています。

ご冥福をお祈りいたします。

7期(n.173) 尾崎伸固氏がしばらくの放浪の旅から帰られ12月の20日に山形県人会会館に現れ、最近の状況を確認されました。尾崎氏には以前多額の寄付を何回か戴き深く感謝しています。

今は古巣のサンタ・バルバラの「我が家」に落ち着き家族と過ごしています。今年の総会新年会には参加されるとの事ですので楽しみに待っています。尾崎氏の携帯電話は(019)983040620です。

役員一同



【編集備考】有田稔氏の49日法要には皆様オンラインで参加されました。

次ページの写真を溝口拓司氏と板垣勇蔵氏からメール受信いたしました。
ありがとうございました。

サンパウロ 8期 長田譽歳

FOTOS RECEBIDAS DO PARANÁ パラナ州から写真を受信



マリンガ市の溝口拓司ご夫妻(1次)

クリチーバ市の板垣勇蔵ご夫妻(9期)



板垣勇蔵ご夫妻とご家族で、今からパーティーが始まる様子です ◆

中国「ゼロコロナ」政策の恐ろしさ

サンパウロ 9期 貝田定夫

中国のほぼ中央に位置する西安市(人口 1300 万人)のコロナウイルス感染状況は深刻である。2022 年 1 月始め感染者数の累計が約 1700 人となった。欧米諸国の感染者数と比較すれば小さな数字であるが、「ゼロコロナ」を目指す中国にとっては大変なことである。北京冬季オリンピックの開催が 2 月 4 日に迫っていることから、西安市は 1 月 4 日まで新規感染者数をゼロに抑える目標を打ち出した。

去年の 12 月 23 日から西安の都市封鎖(ロックダウン)が始まり、当局の厳しい統制から逃れた動画にはすさまじい光景が見られる。例えば、食べ物を買に行った少年が警官に殴られ、食べ物が地面に散乱している光景(外出禁止なのに外へ出たので罰せられた)。徒歩で西安から逃げる人々、冬の川を胸までつかりながら対岸にたどり着く、しかし待っていたのは数人の警官だった。そして外出して逮捕される人、警官が、あおむけに倒れている男性の顔面を膝で地面に押し付けていた。これはアメリカのフロイド事件を思い出させる。白人警官が黒人の首を膝で地面に押し付けて窒息させた、世界中に知られたあの事件である。西安の男性は手錠をかけられず死に至らなかったことが、せめてもの救いである。

西安では「市民に食料を配給するので外出禁止」ということだが、食料は十分に行きわたっていない。食料の蓄えのない者は食料探しに外へ出る。運が悪く警官に捕まればひどい目に合う。食料の値段は暴騰し野菜などは通常の 10 倍にもなっているという。西安から脱出しようとしている者もあとを絶たない。バスや地下鉄も止まっていて、車で走ることも出来ないので歩くしかない。警官の監視を逃れようと川を歩いて渡るが、それでも捕まってしまう。

さらに、西安市民が見たのは大がかりな住民の「強制隔離」だった。ある居住区に突然、救急車や何台ものバスがやってきて、大人、子供、老人、病人ま

で一緒くたにしてバスに詰め込まれ、居住区の全員が遠くの隔離施設に連行された。事前の通告もないので生活に必要なものも準備できないまま、何処に行くのかもわからずにバスに乗せられた。感染者のみを隔離するのではなく、その居住区の住民全員を強制的に隔離したのである。

これで市民は、「ゼロコロナ」とはコロナウイルスを排除することではなく、感染者を社会から徹底的に排除し市内の感染者をゼロにすること、と気がついた。はからずも、「ゼロコロナ」にはカラクリがあることがわかった。

「ゼロコロナ」は習近平肝いりの政策であり、共産党指導部の指示に地方の役人は従わなければならない。彼らは目的達成のためにはいかなる犠牲もいとわない。国民の健康や暮らしを犠牲にしてもやらなければならない。共産党にとって都合の悪いものは排除し、習近平が見たくないものは隠すことになる。

今年の1月10日、北京に隣接する天津市で2人の変異ウイルスオミクロン感染者が確認された。北京オリンピックまで1ヵ月を切る中、オミクロンが直ぐ近くに来ていることに、政府関係者はびっくり仰天の様子。

天津在住の日本人が次のように語っている。「天津市民1400万人全員を対象にPCR検査が開始されました。私は午後1時から11時間も列に並び、検査が終わったのは夜中の12時でした。長い列はまだ続いていました。検査の結果が分かるまで自宅待機になります」。そして直ちに移動制限が始まり、「特別の用事がない限り天津を離れてはいけない」との指令が出されたとのこと。市内では既に買い占めが始まり、殺到する市民に警察はてんでこ舞いしているらしい。

北京に近い河南省安陽市(人口550万人)でもオミクロン感染が判明した。天津から来た学生によるもので、1月10日以降80人を超す新規感染者が確認さ

れている。全市民にたいする外出禁止令が出され、事実上の都市封鎖(ロックダウン)となった。中国以外の国ならば、早い時点でオリンピック延期の検討などがなされたであろうが、中国ではその気配は全く無かった。あくまでも予定通り決行ということらしい。いざとなれば、「強制隔離」という奥の手を使ってオリンピックを開催し、“ゼロコロナ達成”と“オリンピック成功”を世界に発信することになるのだろう。

ワクチンは変異ウイルスに効果がない

サンパウロ 9 期 貝田定夫

新型コロナウイルスは収束に向かっているのかと思われていたが、突如現れた変異ウイルス、オミクロンが猛威を振るっている。2021年12月頃から欧米ではオミクロンの感染が驚異的なスピードで拡大し始めた。アメリカ、イギリス、フランス、イタリアなど軒並みに感染者数の過去最多を更新している。これらの国々では、国民の7割以上がすでにワクチン接種済みだった。にもかかわらず、これほどの感染者が出ているのはワクチンの予防効果がないことを表している。最良のワクチンと見られているファイザーも、時間が経つにつれて有効性が減少することを認めている。既存のウイルスには効かなくなり、ましてや変異ウイルスには全く効果がないことになる。

イスラエルは他の国に先行して、ワクチンの接種を始めた。それもファイザーのみを使用して効果があり、一時は普通の生活に戻りつつあった。ところが、変異ウイルスデルタが現れ感染が拡大した。またもやマスクの使用が義務づけられ外出制限も行われた。そして今度はオミクロンである。

イスラエルではファイザー製ワクチンの4回目の接種が行われているが、果たして効果があるものかどうか。ファイザーは効果を高めるとは言っているものの、ファイザー自身も確信がないのではないか。ウイルスの変異が先行しワ

クチンが追い付いていない、これが現実である。製薬会社はワクチンを売れば金になるのでいいだろうが、莫大な金を使ってワクチンを接種しても効果がなければ、国にとっては大問題である。

ここで思い出されるのは、コロナウイルス感染が始まって間もない2020年5月頃、京都大学の本庶佑教授が「ワクチンに過度な期待は禁物」と警鐘を鳴らしていたこと。彼は2018年のノーベル生理学・医学賞の受賞者で、科学的な根拠と長年の経験から「ワクチンの開発は容易ではない」と次のように説明していた。

「RNAを遺伝子に持つウイルスであり、構造が不安定で変異しやすいのでワクチンをつくるのが難しい。ウイルスの変異のスピードが速く、世界各地に広がって行く過程で変化する。ワクチンが完成しても開発当初とは異なるウイルスが蔓延しているかも知れず、一部のウイルスにしか効かないことも十分にあり得る」と語っていた。今の世界の状況は、まさに彼が予測した通りになっている。

当時、本庶教授はワクチン開発よりも既存薬の方に期待すべきと言ひ、治験(医療用語で治療の臨床試験のこと)を進めればコロナウイルスに有効な薬が見つかる可能性がある、と既存薬の利用を強調していた。実際に世界の各地で、マラリアの治療薬クロロキナーや抗寄生虫薬イベルメクチンの効能が取りざたされていた。だが、科学的な根拠がないとの意見が強く、まずはワクチンの開発という考えが世界の大部分を占めていった。しかし今、ワクチンが変異ウイルスに効果がないという問題に直面している。

これからも新しい変異ウイルスは現れるだろうし、変異ウイルスが先行しワクチンが追いつかない、というパターンが変わらないならば、ワクチン接種の意味がなくなる。根本的に考え直さねばならない。ここに至っては本庶教授が提言した既存薬の利用に意義があると思われる。まずはクロロキナーやイベルメクチンなどの治験を徹底的にやってみることだろう。薬は既に有り、副作用

の心配もなく、根気よく治験をやるだけである。費用も新薬開発とは比べものにならないくらい安くなると思われる。

本庶教授の他にも「ワクチンにあまり期待していない」という専門家がいる。森田洋之医師は、破綻した北海道夕張市に乗り込んで市の医療体制を立て直した、変わった経歴の持ち主。彼は医師という専門家でありながら「専門家をそんなに信じてはいけない」と面白いことを言っている。

森田医師は「国民も医者も医療を確かなもののように思い過ぎている。医学は数学や物理学のような確かな学問ではない。人間の体は複雑でまだほんの少ししかわかっていない。人体に遺伝子ワクチンのような新しい薬では何が起こるかわからない」と言っている。遺伝子ワクチンとはファイザーの mRNA ワクチンのことで、今回のコロナウイルスに対し初めて人間に使われた。だから、人間の体にどのような影響をおよぼすか、ファイザー自身もわかっていない。長い使用期間を経て初めて分かってくる。

コロナウイルスとの闘いはまだまだ続き、人間はウイルスと共存していくしかないのだろう。ゆくゆくはインフルエンザと同じように、毎年ワクチンを接種するようになるかもしれない。



ミナス州ポーズ・アレグレ市のアルミ缶工場

LATASA（ラターザ）

ベロ・オリゾンテ 9期 荒木昭次郎

サンパウロからベロ・オリゾンテに通じる国道381をミナス州に入り、約100kmの距離にポーズ・アレグレと云う町があります。1989年にブラジルで（確か南米で）最初のアルミ缶がこの工場から生産出荷されました。それまでブラジルでのビールやコーラなどの飲料水の容器に使われていたのは、ガラス瓶やスチール缶でしたが、アルミ製の安全性も確認されて世界中で使用され始めていた時期で、ブラジルでも遅ればせながら一般に使用が始まった時期でした。以前はテレビなどで良く見掛けましたが、コーラを飲んでカラになったアルミ缶を片手で握り潰してゴミ箱にポイ捨てされていたのを覚えています。

この町ポーズ・アレグレ市は地理的にサンパウロからベロ・オリゾンテの間に位置し、またリオ・サンパウロの国道にも近く、四方に延びた国道と州道が各方面に延びて、輸送などには地理的に大変有利な町です。

特に工業化が進む時期の発展を考えて町の南側には大きな工業団地を造成して、工場誘致に力を入れていました。当時、アメリカの一企業のレイナルドと云う会社が、ブラジルのアルカン社と共同でこのLATASAと云う会社を起こし、アルミ缶工場を計画し建設した訳です。たまたま建設会社メンデス・ジュニオール社が工場の建設工事を請ける事に決まり、私も80年代後期に半年間程でしたが工事に呼ばれて行っていました。

工場は国道から500mほど離れた高台に計画されましたが、急に決まった工事なので、簡単な基礎の計画図だけで施工が始まり、それに合わせた整地と建物の基盤の設計、それに敷地内の道路と排水管路それに汚水の沈殿施設などの設計をしながら施工が始まりました。特に管路の計画では、敷地内の雨水管路と事務所と工場からの汚水管路、それにアルミ版の加工場からの工業汚水の管

路などがあり、所々で各管路の交差が多くあるので大変面倒だった思い出があります。またアルミ版から製品を加工する機械類はすべてアメリカから輸入されていましたが、いずれもだいぶ使用済みの様な物でした。新しい性能の機械が出来き、仕様されていた古くなったのをブラジルの工場に移したようでした。

昨年でしたが、その工場の近くを通ったので思い出の LATASA まで行って見ました。工場の入り口近くに居た人から話を聞きましたが、缶の生産は大分前に止めて今はアルミ缶の回収だけをやっているとの話でした。

この工場が生産を初めた数年後には、LATASA だけの生産では間に合わず、ブラジルの大きな各地の都市に数社のアルミ缶の工場が造られたので、大都市から比較的遠い町の LATASA 社は生産を止めてアルミ製品の回収事業を専門にする様になったようです。資料に依れば、アルミ製品のブラジルの回収率は世界で最多の 98%を保っているようです。

ポーゾ・アレグレの製缶工場の工事には毎週リベイロン・プレット市から車で行き来していました。ところが偶然に大変な事故に合う様な経験をしましたので筆記して置きます。

ある週日に我が家に帰るのに一人で自動車を運転していましたが、雨が降り始め、大雨が舗装面を濡らしはじめました。道路は少し下り勾配でしたがスピードを落として運転を続けていました。ところが急に握っていたハンドルの感覚が無くなり、それにブレーキを踏んでも反応なしで、車は勝手に滑るような状態となり、続いて反対車線に滑るようになり、路肩までズルズルと移動してしまいました。幸運だったのは反対車線には 1 台も車が向かって来なかった事です。反対側の路肩まで滑り込んで止まりました。

その場所は数メートルの盛土をされていた所で、もう少しで路肩から転落する危険がありました。この初めて起こった異常事態にすっかり驚きましたが幸いに事故にならず本当に幸運だったと思っています。雨が小降りになったので車には異常も無く家に帰り着きました。

次の日に車種の代理店に行って車が勝手に異常作動した事を話して説明を聞きましたら、それは Aquaplanagem と呼ばれる異常事態が起き、タイヤとアスファルト間に水がはけきらずに残ってタイヤの接地が出来ずに起こる事で非常に危険だとの説明でした。

後で調べて知ったのですが、日本ではハイドロプレーニング現象と言われ、大変危険な事故の原因だそうです。道路のアスファルトの表面、タイヤの摩耗状態それに水の量などいろいろな状況が偶然に一致して引き起こす事になるようです。雨が多く降る時期には事故が多く起こる可能性があるので気を付けています。

いつも TV で自動車事故のニュースがあり、反車線に渡った車が正面衝突している写真が放映されて運転手の居眠り運転とか飲酒運転で中央線を越えての事故と言われていますが、Aquaplanagem で起こった事故もあると思います。

このポーズ・アレグレのホテルには数人の技術者と一緒に住んでいましたが、仕事の仲間とは何時も行っていたレストランにミナス料理の Frango com Quiabo (鶏とオクラの煮込み) と云うのがあって、何時も食べていました。その後家族が一緒になった時にも、ミナス料理のレストランを探しては皆で好んで食べるようになり今でも大好きな食べ物となりました。



楽書倶楽部 39号(2017年8月15日付)に投稿したものです。

下宿は一部屋に二つのカーマが有り、そこに先住者のおじいさんが居ました。歳は65歳ぐらいで大分前から住んで居たらしい。新しい生活が始まったもののまず先立つ物はお金です。全財産は首にお守りの様にぶらさげていたたったの100ドル札一枚と50ドルでした。

これがあれば3ヶ月分の下宿代が三食付いて生活出来たのです。まず周り近所の探索に出かけました。ともかく町の雰囲気は親しまないと思い、いわゆる日本人街と言われるリベルダーデ境界をつぶさに歩いて調べました。ある時何気無くリベルダーデ広場に行った時、ある角の建物の5階にソロバン塾の看板を発見してそこを訪れることにした。そこではジャポンノーボにポルトガル語を教える教室もあったのです。「よっちゃん」はソロバンが得意です。なぜならば高校は商業高校なので、あの当時は必須科目でした。3級の腕前です。でも、今は手軽に計算機が便利ですね。

ここのソロバン塾のドーノ（福田先生）は日本から来て6年位になり、ブラジルにソロバンの普及に来たそうです。最初は農家にカマラードとして配属になったが、「見なさいこの痩せ腕で百姓がつとまると思いますか？」と自慢の痩せを見せるのでした。取りあえず永住権を取るために農業で来たが、最初からつとまる訳が無いのを知っての上でパトロンが了解してくれたそうです。パトロンは日本の文化ソロバン普及の精神を買い取ったのでしょうか。これがブラジルの最初のソロバンの普及でした。

ポルトガル会話の月謝は確か週二回で月に30ドルぐらいで1ヶ月やれば1ヶ月分の下宿代がパーになる。しかしこの思い切った覚悟が「よっちゃん」の輝かしい未来を開けてくれたのだ。ソロバンの福田先生は、話をするのも上手だが人の話をよく聞いてくれるのです。「よっちゃん」が指圧師だという事も現在仕事なし、ジャポンノーボでブラジルのことは全然分かっていない事も承知だ。

ポルトガル語の先生は二世のカルメンという大学の先生でとても綺麗な人でした。又親切で丁寧で良かったです。又ソロバンの福田先生は既に二世の方と結婚していて、親切で人の面倒を見る方でした。「よっちゃん」は暇なのでこのそろばん塾にポルトガル語会話のため以外にも尋ねて、色々とお話を伺ったり友達を紹介されたりして当地の事情を一生懸命に知ろうと努力してきました。

福田先生が言うには、家にいるソーグロが「最近、腰が痛い」と言って薬を飲んでいるが、あんまり芳しくないで指圧をしたらどうかと尋ねたら、ぜひ頼むと言う事で、岡井さんをお願いしてみようということになったので、「どうでしょうか？」とたずねて来ました。この一言がブラジルでの幸運の始まりでした。

一度指圧したらこれは素晴らしいと、とても喜んでくれて毎週2回ほど続けてやってほしいと頼まれましたので、喜んで引き受けることにしました。その内に友達を紹介されて確か一週間で三人ぐらい治療していました。一人でやっているので治療代は安いけれど丸々自分のものになるので、とても助かりました。

こんな調子で下宿代を心配する必要もなく、一息ついたのですが暇があれば相変わらずソロバン学校に行っては時間を潰して情報を得ていました。そこに綺麗なモッサが働いていて彼女のナモラードは日系二世の会計士で、とても親切で、「岡井さん、あなたに営業許可証を取ってあげるよ」と言って取ってくれたのには驚きと感謝でいっぱいでした。

ここに来るたびに椅子に座ったままの指圧を積極的にしていたので、それが良かったのでしょう。ここに来る人を喜んで簡単な肩こりなどを治していたので、中には患者さんを紹介してくれる人もいましたので大変助かりました。

“与えよ、さらば求められん”です。

ある時、素晴らしいニュースが来たぞ～、岡井さん、フットボールクルベからマッサージスタが必要だと言って来たのであなたを推薦してやったよ！びっくりしたね～、なんとあの有名なコリンチアンスのフットボールクルベだよ。又あの当時サンパウロでは一番大きな水木物理美容療法の所から治療師を探しているから面接をして見ないかと尋ねたので、そこに面接に行くことにした。ちょうどフットクルベの方から返事が来て言葉があまり出来ないようだから駄目だと言われたから水木さんの方は渡りに船であった。

面接に行って驚いたことにはこの水木物理美容所は何とモッサ達（全部田舎の二世のお嬢さん達）が五十人位いてサウナ、ドゥシャ(Ducha シャワー)、美容、体操そして美容マッサージをしている所で金持ちの上流階級のご婦人達が主な客であった。

例えば各国の大使夫人や大会社の社長夫人、会社や銀行の重役の奥さん連中がほとんどでした。中には八月の夏休み1ヶ月は旅行に行くので来られないが、私の決まった時間を確保するためにお金だけはちゃんと1ヶ月分は前払して、私が帰って来ても私の予約した時間にして下さいと言う具合です。

幸い好意的に私を雇い入れる事にしたが、余談だが今思い出せば労働手帳を貰った事はなかった。

男の時間帯は朝の7時から8時までの一時間、夕方6時から10時迄です。男の授業員はパトロンの息子二人と私ともう二人の五人が男だけの世話をします。パトロンの息子の長男が日本に治療の勉強で行くと言うので、私を治療師として長男（研ちゃん）の代わりでした。

彼は正式な物理療法士で、治療の方（脊椎の痛み、腰痛、膝、肩など）を専門にして、あとの連中は ducha やサウナの世話とリラックス・マッサージをしていました。勿論お客さんは全部裸でその上にタオルを置くだけです。

「よっちゃん」以外は皆日系二世ですが、日本語はみんな達者なのには有り難かった。

所が私は来たばかりなので、私がやるお客さんはいないので、付き添いで見ていただけですが、どんなやり方をするのか？ どんな方法を使っているのか興味津々で見えていましたが、指圧とは程遠くやはりマッサージはマッサージでした。

しばらくして長男がいよいよ日本に出発する日が来たので、彼がお世話しているある一人のお客さんを紹介してくれました。初めてやるブラジル人で中年、少し太り気味の人で、後で聞いてみればこの人は Johnson & Johnson の重役の人で、同僚と二人で一週間に 3 回来ていました。

最初にサウナに入り、Ducha をしてからマッサージをしていました。いよいよ「よっちゃん」がここに来て初めてのマッサージです。

マッサージのやり方を見ていたので大体分かりましたが、それに「よっちゃん」の強烈な指圧を背中の膀胱経に丁寧にやってあげました。膀胱経は全内臓の反射点があるので体はマッサージと比べればとても軽くなり、胃腸の働きが良くなるので、終わった後は体がスッキリするのです。

さらに脚や腕を伸ばしたりして整体法を少し混ぜてやりました。その結果、何と次に来た時に「あなたのマッサージはとても良かった、出来れば同じ連れの仲間もやって貰えたら嬉しいけど？」と言うので、喜んでお世話することにした。

これがきっかけでお客さんが増えてきたのです。まあ、どちらかと言うと痩せるためとかリラックスに来る人が多いのです。

長男の研ちゃんが日本に行ってしまったから、治療関係の患者さんも引き受けることになった。これが目的であったのです。

「よっちゃん」のマッサージ兼指圧が評判になったので、仲間がそっとカーテン越しに見ていてそれを真似していましたが、基礎が全然知らないので馬乗りになって指圧らしきことをしていたのを偶然見てしまい驚きました。

朝 8 時から夕方 6 時まで女性が主体の所で、男のセッソンは二階の方に建て増しをしていました。ですから 8 時以降は雑役ばかりでしたが、その内に治療関係の仕事がドンドン増えてきました。

「よっちゃん」はあの当時ここに入ったのは、まずカーマを確保して、食事を三度食べられようにすること以外、お金の方は無頓着でした。それでも「よっちゃん」の働きを見て最低給料は頂いていました。全く有り難いことです。

それで考えました、何かやってあげたいと思って朝はもう少し早く起きて二台ある自動車を毎日洗う事にしました。夜にはパトロン夫婦に時々指圧をしていました。

半年位立った時、沢山の二世の女の子達がグレーベを始める噂を聞きました。どうしてだろうと情報を探っていたら、彼女達は全員この寄宿舎に入っています。田舎から来て西も東も分からない子達にマッサージの仕事や痩せる体操を教えたりして、一年でマッサージの国家試験を受けさせてやり、手に職をつけさせているのです。これほど素晴らしいことはない。全く感謝ですね。

三食付いてカーマで休み、夜は高等学校に通わせているのです。さらにサラリーマンを払っているのに何が不満でグレーベをしたいのだろう？

ところが事情があったのです。ここに入って1～2年は勉強したりして実地見習いなどしているが、もう一年もすれば大体マッサージや体操は分かってしまうのです。所がここに5年6年以上もいればもうベテランです。

そう言うベテランに最低給料と少しの手当だところから出てアパートを借りて通って仕事する事を考えれば手当が少なくて、とてもじゃないがやっていけないのが不満なのでしょう。

やはり住み込みでなく独立した生活を始めたいのは普通でしょう。仕事以外に自分の独立したい時間が欲しいなのでしょう。だから最低給料プラス歩合制でやってくれと言う注文らしい。

それでパトロンと従業員達が話し合いになって、その結果最低給料は保証しないが歩合制でやる事になった。パトロンもバカじゃない、その結果歩合制でやった結果は元の収入とそんなに変わらない結果になったのです。

ところが「よっちゃん」にも相談したいとパトロンが言ってきた。さ～何だろうと思って話を聞いたらあなたはどんな条件でやりたいですか？ と聞いて来たので「よっちゃん」もバカではない。

それは最近日本人の若い美容師が入ってきて、日本では銀座の一流の所で働いてきたと言う事で、彼の場合はメИАメИАでやっているのを聞いているので、「よっちゃん」も最低給料を保証し後はメИАメИАでどうでしょうかと返事したらそれは難しい、30%で手を打ちましょうと言ってきたのでOKした。

「よっちゃん」は心の中で喜んだね～、そりゃそうでしょう。 「よっちゃん」の治療代は彼女達の倍の値段だから30%と言っても、一人から頂く30%は今のお金で20ドル位になるので一日7～8人しても、あの当時は「よっちゃん」にとっては大金が入って来たようなものだ。

でも入って来たお金の半分は彼女達に色々お菓子などを買ってやっていたので、人気はあったね～。中にはナモーラしたい女の子も出て来たが「よっちゃん」はあの頃まだまだ生活の夢を抱いていなかったからね。

そんな時に同じ10期生の仲間から「助けてくれよ」と知らせが入った。それは4人で一つの部屋を借りて自炊して腹減って死にそうだと言う。それで様子を見に行ったら驚きました。その仲間は長田、萩原、歌原それに見た事がないもう一人の二世でしたマウロと言っていた。

次号へ続く



ねつと の ぐーぐる で み っ け た も の を しょうかい します

ぼると が る じゅうつき おかい
ポルトガル 10期 岡井よししげ

ひがえ
日帰りで

えんめい
延命は

さんじかん
三時間

めざ
目覚ましの

お
起きたけど

かいさつ
改札を

たんじょうび
誕生日

まんぼけい
万歩計

ごろ
この頃は

めか
目には蚊を

ふうふ
いい夫婦

るすでん
留守電に

な
名がでない

さがもの
探し物

としかさ
歳重ね

えるいーでい
LED

くらすかい
クラス会

たあ
立ち上がり

い
行ってみいたいな

ふよう か
不要と書いて

ま びょうめい
待って病名

べる
ベルはまだかと

ねるまでとくに
寝るまで特に

とお よ み
とおれず良く見りゃ

ろうそくふ
ろうソク吹いて

はんぶんいじょう
半分以上

はなし い ば
話も入れ歯も

みみ せみ
耳にはセミを

いま
今じゃどうでも

「ゆっくりしゃべれ」と ちち
どなる父

「あれ・これ・それ」で よう た
用を足す

さが
やっと探して

た
もう食べられぬ

つか き
使い切るまで

さいご くすり
最後は、薬の

ようじわす
用事忘れて

てんごく
天国へ

いしやがよ
医者通い

かれい
《加齢》です

おま
起きて待つ

よう
用もなし

しんさつけん
診察券

た
立ちくらみ

さがもの
探し物

あ
かみ合わず

か
飼っている

ふうふ
いい夫婦

ちち
どなる父

よう た
用を足す

お わす
置き忘れ

まめ かず
豆の数

じゅみょう
ない寿命

せつめいかい
説明会

すわ
また座る

む のうやく
無農薬

ようせい
妖精と

めぐすり
目薬を

すく
少ないが

けしき
景色より

あつげしょう
厚化粧

かーどふ
カード増え

つまりょこう
妻旅行

こい
恋かなと

しんこく
深刻は

へそくりの

だいじ
これ大事

こし
腰よりも

ばあ
婆さんよ

なんかい
何回も

まいける
マイケルの

こだわりながら

よ つま
呼ばれた妻が

さ
差すのになぜか

まんがくはら
満額払う

と いれ き
トイレが気になる

わら ていしゅ
笑う亭主は

あんしょうばんごう
暗証番号

にゅういん
おれは入院

おも
思っていたら

じょうほうも
情報漏れより

ばしょ わす
場所を忘れて

だいじ
あれも大事と

くち
口につけたい

いぬ あい
犬への愛を

はな
話したはずだが

まね ほっさ
真似を発作と

くすりづ
薬漬け

ようかい
妖怪に

くち あ
口を開け

さんぱつだい
散髪代

かんこうち
観光地

うすげしょう
薄毛症

うら か
裏に書き

ほてる
ねこホテル

ふせいみやく
不整脈

にょうも
尿の漏れ

つま き
妻に聞く

ごみ へや
ゴミの部屋

まんぼけい
万歩計

すこ
少しくれ

はつみみ
「初耳だ」

まちが
間違われ

へんちゅう
【編注】

まいける かしゅ まいける じゃくそん
1) マイケルは歌手のマイケル・ジャクソンです。

にほんご まな かたがた ふ がな
2) 日本語を学んでいる方々のために振り仮名をつけました。

ふ がな よ ほんぶん もじ おお
振り仮名を読みやすくするため本文の文字を大きくしました。

明けましておめでとう御座います。

今年もコロナビールスで賑わう事でしょう、この行事？はずっと続いていきますよ！ コロナビールスは3ヶ月ごとに形を変えて生き残ろうとするので、ワクチンをしている人達はそのたびに新しいワクチンをしなければならないのでしょう。

今世界でやっているワクチンはコロナビールス対策として研究開発の段階で、必ず治るとかどんな副作用が出るかを調べ研究しているので、今ワクチンしている人は人体実験つまりモルモットというわけです。「よっちゃん」は決してしません。

ワクチンは簡単に言えば体の抵抗力つまり免疫力を高めると言われていますが、免疫力は血液の白血球のがん細胞やコロナビールスをやっつける NK 細胞、T 細胞そして B 細胞があります。

これらの細胞は全て食べ物によって造られているのでコロナビールスにかからない、かかっても直ぐに治る対策を立てなければならない。今の世界で各国の政府の対策は第一に手を消毒、第二にマスクの着用、そしてワクチンの接種をなさいと言う外からの対策ばかりで内面からの具体的な対策法を聞いたことがない。

要は免疫力を高めれば解決する事なのにそれ～ワクチンだ！ワクチンするのは義務だ～！とばかりに政府やテレビでは煽ってばかりで、国民を恐怖のどん底に追いやっている。ワクチンをさせれば誰が儲かるかですか？製薬会社です。どれだけマスコミや政府高官達にお金をばらまいて国民にワクチンを騙し続けているか、はかり知れない。

今のワクチンは人間の遺伝子を操作する方法で、これから2年後5年後に体がどう変化するかは誰にも分からない。

中には今世界で人口が増え続けているのを十分の1までに減らそうと言う、世界の影の政府が動いてやっているらしいと言う眉ツバの情報もある位で恐ろしい事になりそうだ。

では、今後終わりそうでもないコロナ対策を立てましょう。

第一に頭の脳に心配無用、と植え付けることです。私達は先祖や神からいつも守られているのだと自覚しよう。いつも感謝の気持ちを持ちたいと思います。それを言葉で言い表します「有難う！」ともかく徹底的に「有難う」を連発しましょう。ある師匠さんによれば、癌でも30万回「有難う」と言えば消えて無くなるそうです。

第二に食べ物です。体を温めて免疫力を高めるものです。それにはニンニク、玉ネギ、生姜これは三種の神器です。これを中心にして他の野菜を混ぜて召し上がる。

1日分としては一人ニンニク2〜3片、玉ねぎは半分、生姜は少々です。「よっちゃん」はソッパにして食しています。免疫を下げるもので一番悪い物は砂糖や砂糖を使った甘い物、清涼飲料水です、癌は甘いものが大好きです。ですから癌患者で寝ている人にソーロ(Soro)をしているのは癌を一生懸命増やしていることになります。

第三に体操です、体を動かさないと血液の循環が悪くなるので、簡単な腕振りやカカト落としの運動を毎日します。どうするかと言えば次の方法です。

まずはやってみよう！



1. 足を肩幅に開いて立ちます。
2. 両腕をまっすぐ伸ばし、思い切り後ろに振ります。
3. 後ろに振った反動で前にも振ります。このとき力を抜くことがポイントです。

視線は前方で、肩・両腕は力を抜いてリラックスしましょう。

自分のリズムで両手振りを繰り返します。1回5分、1日2回を目安に体操しましょう。ご自身の体調や体力に合わせ、できる人は回数・時間を増やしてみてください。

こんな方におすすめです



- ・ 肩こりが気になる
- ・ 目が疲れやすい
- ・ からだのゆがみが気になる
- ・ マイナス思考になりがち
- ・ なんとなくだるい日々が続いている

それでは、
2022年も明るく元気で進みましょう。



JAPANESH ジャパニッシュ

フォス・ド・イグアス 十期以降 齋藤信夫

皆様、遅ればせながら、新年おめでとう御座います。本年も宜しくお願い致します。皆様におかれましては、如何な新年だったでしょうか？

今年こそは、コロナビールも終わり、世界が平和でよき年でありますようにと願いましたものの、コロナは一行に静まらず、今度は、あろうことかオミクロン株なる新種が出現、今年も厳しい年になりそうです。

新年にあたり、今しか価値がない、と云うクイズをお楽しみ下さい。

2022、222、222220 この数字は何を意味しているでしょうか？
ちょっと見ただけで、お分かりの方もいるでしょうが、一応解答は最後に記しておきましょう。ヒントは「間もなく誰もが体験するでしょう」。

それでは表題のジャパニッシュです。聞きなれない言葉でしょうか？ 私の造語です。いや既にもう、誰かがこの言葉を使っているかもしれません。

「Japanese+English」÷2=Japanesh=カタカナ語です。

今日本では、カタカナ語=ジャパニッシュがもの凄い勢いで増え続け、そして使われています。

会報210号で、貝田さんが嘆いておられました。テレビを観ていたら「9時のニュースです」と言えばよいものを、「ニュース ウオッチ ナイン」などと言いやがる、と。

今や、この手のカタカナ語=ジャパニッシュの多い事、多いこと、これも時の流れでしょうか？

ある日、私はソファに腰を下ろし、雑誌をパラパラとめくりながら、前方のテレビを観つつ、ほんの20分程、テレビと雑誌からひろった、カタカナ語=Japanesh がこんなにありました。

ヒットソング、ソングコンサート、アートワーク、ベストワン、ワースト、パートナーシップ、キャンペーン、アクターズシニア、フリーズドライ、メインデッシュ、ランチコーナー、メンズコーナー、イケメン、コミュニケーション、マーケティング、エンタクトセンター、アクセス、オンライン、ロックダウン、パンデミック、モーターハング、コントロール、インパクト、ワーキング、ウオーキング、ストレッチ、スイミング、リモートワーク、デスクワーク、セルフワーク、デリバーテープ、メルトダウン、キャッチフレーズ、ラク

チャー、デイリーハイライト、アイデンターター、ブリッジコンテスト、コンサルタントフィーロー、スキルアップ、等等。

僅か20分程の時間でこんなにも、ありました。これでも全部ではなく書き損なった単語もあります。まさにジャパニッシュがオンパレードです。

これらに加えて、アルファベットの頭文字だけと云うのがありますね。LGBT, ICPO, APEC, TPO, VTR, UAE, AI, IT, IS, EV となんだか理解不可能な記号ばかりです。NHK とか SKS なんてのなら良くわかりますが、GOTO TRAVEL 何だこれは？ 強盗旅行かよ？

今は昔、明治の頃は、外来語は今よりずっと少なかったでしょうね。一語一語外来語を日本語に訳したもの、造語したものが立派に日本語として、今でも使われているものがあります。

正岡子規が翻訳、造語した、野球用語なんて立派なものです。ピッチャー=投手、キャッチャー=捕手、ファースト=一塁(手)、ホームラン=本塁打、ヒット=安打等々名訳ですね。

でもベースボールがなぜ野球なのでしょう？ ベース=塁 ですから、ベースボール=塁球では？

昔は球場もなく、野原でやっていたから、野球でいいんでしょうか？

今では完全に「野球」で定着ですね。でも正岡子規が折角、ベースボール用語を日本語にしたのに、今ではジャパニッシュでピッチャー、ファースト、ホームランなどと折角の日本語訳を、使う人が少なくなりました。

そして今は何かを建設して、名前をどうするか？ と一般募集する事が多々あります。レインボーブリッジとかスカイツリーとか、原っぱを公園にしよう！ 名前は陽が良く当たるから「サン・パーク」=SUN PARK だと！ 何で日本語の名前をつけないんだ？

「クールビス」なんて言い出したのは、今の都知事さんでしたね？ この人は「機」を見るに敏といいますか？ アメリカ前大統領のトランプさんがポーカフェイスでなく真顔で『アメリカファースト』と叫びましたら、なんと翌日は、ポーカフェイスで『都民ファースト』と自分の言葉にして声を張り上げていました。彼女はエスペルタ (esporta 抜け目のない) ですね。

(編注：男性なら、この形容詞はエスペルト esparto です。)

それにしても最近の外来語は多過ぎてとても日本語に訳したり、造語している暇も無く、カタカナ語にせざるをいないのでしょうが、せめて、何十年も使っている日本語を、わざわざジャパニッシュにする必要もないとおもいます。

貝田さんが言うように「9時のニュースです」を『ニュースウオッチナイン』にしてみたり、「西口公園」というのを「ウエストゲートパーク」なんてね。日本語をわざわざカタカナ語にするとカッコいい。とでも思っているのでしょうか？

アメリカへ行き、英語のつもりで、カタカナ語でアメリカ人に話しかければ、「貴方は日本人ですか？ 貴方の話している日本語は、大変英語に似ていますね」なんて言われるのがオチでしょう。

何処の国でも、自国語を大切にします。ヨーロッパの面積は、ブラジルの国土よりも小さいですが、そこに何十もの独立国家があります。少々言葉が違ふ、人種も少し違ふという理由で40ちかい独立国家に分かれています。日本人ももっと自国語を大切に、必要があると思います。

しかし何です、日本の子供達はたいへんです。ヨーロッパ人種達（北南アメリカ・オセアニア人も）は、文字はたったの26字で事たります。

其れに比べ、日本語文字は幾つあるのでしょうか？ 当用漢字が今は幾つですか？ 900くらいでしたか？ しかしこれだけでは歴史読み物には足りません。それにひらがな、カタカナ、アルファベット、カタカナ語、これらを全部覚えなければなりません。アメリカで5千語もしつていれば、博識です。日本ではオトマトペ語（擬音語・擬態語）だけでも3千とか4千もありますね。それに敬語、丁寧語、カタカナ語、それに本来の日本語です。

太平洋戦争後、アメリカが日本を統事し、アメリカ式に6, 3, 3式の教育制度にさせられました。アメリカには26の文字しかありません。日本はその何百倍もの文字があるのに、アメリカと同じ年数の学校教育なのです。ほんとに子供達はたいへんですね。

いっそベトナムのように漢字を止めて、全てアルファベットにしますか？ あるいはもっとカタカナ語増して、文字はアルファベットのみにしますか？ シンガポールでは、漢字をやめて、外来語とシンガポール語で「シングリッシュ」として、話しています。

日本も現在の状況が続く限り、カタカナ語はドンドン増し、都市部では20年もしないうちに、Japanesh が日本語として話されるようになるでしょう。若い人達には昭和の日本語では通じません。あの世へ行って昭和の言葉で、昭和の話をしましょう。

クイズの解答です。もう皆さんおわかりですよネ。一応記しますと、

2022年2月22日22時22分20秒です。今後、近き将来ではこのように同じ数字の続く事は無いとおもいます。
何か今年は起こりますよォー。ロツテリアでも投げたら、大当たりしそう。
それでは、良き年をお過ごし下さい。



我が家の庭にある花です フォス・ド・イグアス 十期以降 齋藤信夫



ハイビスカス

1. 学名 : *Hybiscus pernanbucensis*
2. 通称 : Guaxima do mangué など



ブーゲンビリヤ

- 学名 : *Bougainvillea glabra*
通称 : Bougainvillea など



二原稿が届きました

サンパウロ 6 期 盆子原国彦

三戸氏から原稿が届きました。二つに分かれていて、最初は坪井様のこと
で、次は世界一週ピースボート乗船中の話で。彼は2008年ピースボートに
乗船して世界一週をしました。

この航海日誌みたいな話は2008年と2009年の南青協便りにトルコの
イズミール港までが掲載されています。

被爆者 坪井直氏、96 歳 逝去

広島県 6 期生 三戸伸晃

標記に関し地元の中国新聞の第一面のトップ記事に掲載された。96 歳という
高齢の逝去は別に珍しい事では無いけれど、この御仁の生き様は如何にも「広
島人！」の代表者の如き数奇の人生を「歩む」特別人の如き一生であったと、
記事は持ち上げて表記している。

この御仁の生涯の記録は、何となくワシ等ごとき戦後派に加えて原子爆弾の
被害者つまり被爆者の生き残り、我が日本帝国が「敗戦宣言」昭和 20 年 8 月
15 日を生きたまま迎えた数少ない二十歳過ぎの「成人男子」と認められた数少
ない日本男児のものだ。

坪井氏は戦後まもなく被爆後の生き残りの人々の救済のための活動に参加し
て、被爆者救済事業に尽力されたとのこと。広島大学の「工学部」卒業後、数
学教師として定年まで「教職を全う」。

1994年に広島被団協の事務局長から日本被団協の事務局長、2010年
に「日本被団協代表」。2016年アメリカ大統領来訪の際には被爆者代表と
して、オバマ大統領と共に平和会談に参席を果たし、「平和活動家」としての
名を世界中の平和活動家に示す。

ふと同じ「被爆者の活動家」としてブラジルで顔を売った「森田翁」の「平
和活動」を忘れてはだめだ！ この「翁」とは偶々（たまたま）2010年のピ

ースポートの招待で横浜港を出航後2～3日目に船内会議の際に隣の席に同席して「初めまして！」の挨拶で知り合った。

森田翁は「ブラジル被爆者協会会長」でピースボートからの招待者だった。この「世界一周・平和の旅」とは被爆国日本の平和団体「日本ピースボート」が主催で2008年に「世界一周95日船旅」を年間1航海～2航海している日本政府と「社民党」主催の「世界一周旅行」の一環として、我々広島市内被爆者&長崎市被爆者の平和活動に両市から50名ずつ、ブラジルに移住した被爆者から2名、韓国在住の韓国被爆者10名、他にカナダ・アメリカ・オーストラリアから各一名の被爆者を勧誘して「平和活動の旅」を企画して、国内では広島・長崎両市の「説明会」に出席して諸々の説明を聴きました。

ワシは細君を伴って「説明会場に」乗り込んだが、まさかの疑問で「本当に我々被爆者を無料招待するのか？」と聞いたら、意気込んでの問い合わせにもピースボート側の担当者は穏やかな姿勢と優しい態度で、「大丈夫です！平和活動なら」。但し被爆者に限り！と条件が付いた。

返答は其の日の内に「電話連絡されたし」であった。ワシ等夫妻はウーン・ウーン？と考えて、「ヨシ！行く事にしよう！」と決心した。

ワシは被爆者であるから「無料招待」で行けるけど、細君は当然に有料である。ハテサテ細君の乗船料（旅費）は「ハウマッチ？」と問えば、イロイロのクラスに依ります云々。訊けば、最低200万～上は550万円。

私事での余談で言えば、ワシと細君はブラジルのグアタパラ移住地で「結婚して」4年目に日本に帰国している。日本での景気向上の波に乗って諸々の「土建業種」を体験して、息子二人の教育も何とか落ち着き、さて会社勤めにも「飽き飽き」？ 目くじら立てての「金儲け」にも辟易して、何とか無事に「定年退職」も出来た。

土建業のノーハウも最早ワシの興味外となる。ヨシ！これからは彼方此方、思いつくまま行きたい所に行くぞ。誰に遠慮が要るものか！それで、彼方此方好きな場所にアラヨッ！と夫婦で「気軽に」飛んで行った。指折り数えてブ

ラジルに3回、ヨーロッパ・アメリカ～カナダに2回、ハワイ旅行は会社の経費で10回以上、タイワンには10か月仕事で通った。

ハテサテ、次は何処に行く？ 丁度ワシは「暇持て余していた頃」の世界一周旅行の勧誘にすぐ反応した。

話を前に戻すと、森田翁との出会いでは、ナンダ！ワシの「青年隊」仲間の「盆子原氏」も森田氏の協会活動の仲間であることも知った。

森田氏は元々「話好き爺」で朝も早くから「寝起きの朝風呂」に同行して森田爺の人生感・生き様アレコレ「生まれてから85歳になるまでの日本の歴史・森田氏の生き様・戦中・戦後の混沌とした日本の政治・生活の諸々など、朝から晩までコンコンと話してくれた。

終戦時の森田氏は広島市内西練兵場の広島師団の憲兵五長の下士官で勤務中に、「8月6日」朝7時過ぎに兵卒5～6名を連れて「対空高射砲陣地設営工事場」に向かう途中で道路上でピカッと光りを感じ大爆発音と爆風で10m前に吹き飛ばされて、起き上がった時は時計も帽子も吹き飛ばされていて、同道していた兵卒も飛ばされてバラバラに倒れて怪我ややけどをしていた。

本人も頭など火傷をしていたとのこと、幸い道路上であったから家屋の倒壊からは外れて、そこから憲兵隊に戻ろうとしても街中はどこもかしこも火の手が上がり、我が身を火災から守るのが精一杯だったという。そこから電車をドンドンと南下して、宇品港まで行けた。

途中、至る所で怪我や火傷で瀕死の重体の人々に出会ったけれど兎も角も宇品港から10km沖合の「似島」（にのしま）に行く船に乗った。その船には乗り切れないほどの怪我人と大火傷で瀕死の人々で満員だったけれど、似島では多くの兵隊たちも瀕死の状況で、憲兵隊の連中を捜しても全員が焼けて誰が誰やらサッパリ区別もつかぬ間に息を引き取る。惨劇に何も出来ぬ俛に、市内の憲兵宿舎まで、又船に乗って帰った。

その日の事は後になって時間的な順序で考慮しても、ナニも思い返すべき事が浮かばんと言う。

後に、イロイロの人から当日の「惨状」を事細やかに「証言」されても、その状況は想像も出来なくなって、思い返すことさえ嫌になると言う。

言われれば、私自身も当日から数日間の「地獄の状況」を思い出すことさえ「嫌だ」。船内で、サーロ節子さんの「証言」を何度も何度も耳にタコが出来程聞かされたけど、そのような「地獄絵図」の状況表現を聴けば、何だかこの人の精神状況は狂っているのではとさえ思える。

後日、船内の被爆者のひとり・ひとりの被爆状況を直接聞きたいとサーロ節子女史が強引とも思える「案」を発言した。

ピースボートの担当者が彼女の「案」を実行したいと決めてしまった。運悪く、最初の聴き取り人をワシに充てて、サーロ女史はワシの部屋に来て、「8月6日」のお話をしてください！ と言う。

何故その日の事を知りたい？ と問えば、サーロ女史曰く「自分が出版する本の参考にしたいから」を聴いて何となく嫌な気になった。別にこの女史の為に嫌な思い出を作りたくないのだから「嫌です！」と断った。一瞬女史は不審な顔つきで「何故ですか？」と問い返す。

何故なのかの理由を何故貴女に「答えねばナランのか？」と問い返すと、女史は「ムッ！」として「では、もうヨロシイです！」と怒った顔。その後イロイロな人の体験談を聴き回って自分の「証言集」を発行するとかだ。如何も嫌な「婆さん」ではあった。

後日、女史は国連の「会議場」で何度も聞いた彼女の「体験記」をとうとうと世界中の人々に「聞かせている」エライ婆さま振りを我々被爆者連中に見せつけた。



「世界一周無賃乗船の旅」はまだまだ続く。

地中海の半分も進まずに毎日毎日トルコやギリシャでの観光・物見遊山的な暇つぶしの日々を「漫然」と過ごして、真面目な有料旅人の人々の「顰蹙」(ひんしゆく)を買っていたけれど、故障した「オンボロ客船」から別の船に乗り換えて旅はいよいよ佳境に入る。

先ず、ギリシャ・アテネ港を出港して二日目に地中海中央部の「小島国」マルタ島に着く。この小島は 1964 年まではイギリス領であったが、イギリス連邦内の「独立国」となる。国民はやっと 40 万人前後の「小国」ではあるが、首都ヴァレッタ以外の平地は「野菜園」で諸々の野菜を作り、その殆どを「オランダ」に輸出して国民の「生計」を支えている由。

独立国としての「国政？」はオランダのご機嫌うかがい次第で「成立」しているとか。おもしろいのは、その国の港に係留されている小舟・中型船等の全ての船首の「左右」に大きな「目玉」が描かれている。何故その様なケッタイナ目玉を付けているのか？ 不思議に思い港に降りて船主に身振り・手振りで尋ねたけれど、現地の漁師達はキョトンとして両手を広げ「ワカラン！」と表現する。

何れにしてもその島で生産される農産物は元の宗主国（イギリス）ではなく北のオランダに買って貰えば国の経営に事足りる？ ワシなど東国の日本人が余計な心配などするな！ 大きなお世話じゃ！ マルタには特別な「観光の目玉」もなく沢山の船の目玉を見ただけで翌日早朝に出港した。

その頃から船内放送では大ヒット映画「カサブランカ」（主演：ハンフリー・ボガート&イングリッド・バーグマン）の映画音楽加えてスペイン戦争の「誰がために鐘が鳴る」（主演：ゲーリー・クーパー&イングリッド・バーグマン）の映画音楽を朝から晩まで鳴らしている。

大の映画好き人間を誇るワシにとっては、嬉しくてウレシクテ、船内映画館で続々放映されるこの二本の映画を朝から晩まで堪能した。

船は順調にイタリアのシチリア島に入港した。

この島からアメリカ本土に多くの移民が渡って行き大都会のニューヨーク市で一大勢力の集団が跋扈（ばっこ）して「暗黒街」を牛耳ったと言う。

島内を車で回ったけれど平地が少なく日本の瀬戸内海に散在する多くの島々と良く似ている。地中海気候で山にも多くの森・林が見られず、傾斜のキツイ荒れ地が広がり、農地としての土壌もやせ地ばかりでアメリカに移住した世代の島民達が移住者として受け入れてくれたアメリカに住み付いてアメリカ人に成れた心意気がよく判った。

この島からスペインのバルセロナ港までは距離的にも近く一晩過ぎて次の朝にはスペインのバルセロナ港に入港した。

この都市では、我々日本人被爆者は各班 10 名に分れ「平和活動の対話」と「被爆体験」について指定された近郊都市の「高校生」との「対談会」が設定されていて、ハテ？ 如何様にすれば「言葉が通じるか？」イロイロ考慮した後、日本語では何を語っているのかサッパリ理解不能であるはずで、日本語をスペイン語に訳してスペイン語で「語る」ことに気付く。

たまたまワシ等の班を引率するピースボート職員に我々が話したい「語り」をスペイン語に訳して、そのスペイン語を我々の誰かが「読めば」視聴者のスペイン高校生たちに「理解される」はず！

ヨシ！ ワシがそれを「読み聞かせよう！」と言ったので、他の日本人達はそろってホッとす。とは言え、ワシ（若い頃ブラジルに約 9 年間住んだ）が発音できるのは、あく迄ポルトガル語なので、この都市の高校生たちが「理解可能か否か？」と心配して事前に船内でピースボート職員に聴いてもらった。

「判るかい？」と尋ねたら、ウーンと頭を捻って言うには、「半分デスネ」。

エイ当って砕ける!! でもって、高校生男女 20 名が座っている部屋にワシ等日本人被爆者老人は全員集合して整列し「ボン・ジーア！」といえ、ナントそこの子供たちは 全員で「ボン・ジーア！」と答えてくれた。

なんて事はナイ。ニコニコ笑いながらおもむろに便箋紙を取り出して、いきなりポルトガル式発音で「ワシ等は被爆者の生き残りである、でもって本日は「被爆体験談」を皆さんに聴いて貰いたいのである！」とたどたどしい発音で語り掛けたら、ナント！このスペインの高校生たちは驚きの姿勢でパチパチ拍手してくれる。

ん？ この子等は多少ワシが読み上げるスペイン語モドキ？ が理解出来るのか。嬉しいではナイカ！ ユックリと読み上げて行くと、高校生たちはわずかながら首を傾げつつ「理解している？」様子にアナ嬉し喜ばしで何とか詰まりながらも、やっと読み終えて、最後にサンキュウ！と言うたら大喜びで、サンキュウ・センキュウ！と大喝采。

ワシも他の御老人達も一緒になって拍手。そこで同席の「被爆者老人達」もそれぞれの体験談を日本語で。時折英語の単語を入れて語る。あれやコレや手を挙げたり振ったり、顔をしかめたり、笑ったり泣いた振りをしたり、イロイロ日本語でしゃべってみれば、結構子どもたちもそれぞれの「理解度」に合わせて笑ったり怒ったりその子等の親・兄弟・姉妹たちも同じように手を叩いたり足を鳴らしたり、それぞれの表情で何とか対話らしき雰囲気味わえた。

ワシ等の仲間の「被爆者の生き残り」達も快く感じ良い対談が出来た様な気がした。時間の都合でそこに来た「高校生」達から、その市街地が第二次大戦の初期にドイツ空軍の「空爆」を受けて市内の彼方此方で被害を受けた場所を「見に行こう」とゾロゾロと街中を歩いてから、爆弾投下で亡くなった市民の慰霊碑をみせてくれた。

彼等彼女等の言葉の端々から「戦争は駄目！」という意味の言葉に我々日本人被爆者連中も「戦争は駄目だ！」と意見は一致する。

話を終えて。船に帰る途中。サグラダ・ファミリーの建造物を遠景で眺めただけで船に帰る。残念ではあったが出航時間が迫っていたので、口惜しいけれど今度来るまでの我慢だ。

何となく何か忘れ物をしたような心残りのまま出航した。その夜ジブラルタル海峡を通過してアフリカ大陸とヨーロッパ大陸のハザマを越えた。

後年アフリカ大陸の民衆がこの海峡を越えての渡航を試みたが、途中で小型船舶が無数に転覆沈没して数知れないアフリカ人民がこの海に沈んだと言うニュースを日本で見た。

さて船はジブラルタル海峡を越えてイヨイヨ大西洋に「乗り込んだ」。さすがに地中海の穏やかな海とは違い、4万トンの大型客船でも大波の揺れには「性根？」が入る揺れ具合である。アフリカ大陸モロッコ沖合のスペイン領カナリア諸島の主島の港に入港した。

ハテ？ 大西洋の小島に何の為に寄港するのか？ 良く分からんまま上陸したら、港の岸壁付近で若い娘たち 10 名位に我々を歓迎するダンスで迎えられた。乗船客の若者たちは大喜び！ ワシ等招待客も大喜び！

その後、迎いのバスで島内の役場の広場に下ろされて、島の娘たちと若い男達を含めイキナリ全員でフォークダンスを始めた。誘われるままにワシ等被爆者団体の爺婆達も若者たちの手を取ってダンスを踊った。

ダンスが済んで、またバスに乗って「憲法第 9 条公園？」に着く。アレマ！ その公園にはまさにそのまま日本語で「憲法九条記念碑」と記された「記念碑」が有って、その前に我々被爆者団体は整列。被爆者の中から「育代さん」（このお方は私の疎開地での知人・友人）がいきなり指揮棒を振り上げてベートーベンの「運命」の日本語版を歌い始めました。

このメロデイは我々高齢者でも大概の人は憶えているから、日本語版の歌をその場に居た日本人達は大声で合唱しました。

美しい歌の後は島の奥地に散在する「洞窟食堂？」に立ち寄る。この島はスペインが征服した際に島内の絶壁を利用して彼方此方沢山の「洞窟」を発見して、その洞窟の利用方法を島外から観光に来る「観光客用の洞窟食堂？」に利用するべく既存の「洞窟」に枝穴を沢山堀増して、枝穴のテーブル（石造り）を食卓として利用して観光客の絶賛を。しかもこの食堂ではこの島産のポルコ

のステーキ1点張りでの食い放題にし、この島産の葡萄酒（ビーニョ）の飲み放題が「売り！」であった。

ステーキ一枚が500～600gも有って、我々日本人の「胃袋」にはその「半分？」でも腹一杯になる。彼方此方（あなたこなた）に見える洞窟食堂に観光客の若い娘さん達の食い方を見るともなく見ていたら、17～18位の妙齢なお嬢さん達の食べ方は、ナント一人で2枚ものステーキを平気で「ペロリ」と平らげる。

ウソ…参った！ 妙齢の「お嬢さん」でさえ平気で1kg程度のステーキをヒョイと食らった。我々「草食民族」には歯が立たんナツ。

ステーキを腹一杯食って、葡萄酒を腹一杯飲んで我々は大満足で船に戻った。その夜から船は大西洋を西へ西へと約一週間で駆け抜けてアメリカ大陸のおひざ元のカリブ海に入る。

アメリカ本土には一切「見向き？」もせず、プエルト・リコ（豊かな港？）に着く。港名に似合わず薄汚れた港である。この島の初代大統領トルヒーヨは昭和34年頃に何を思って来たのか？ 時の池田勇人総理大臣を訪問して、国賓待遇で総理大臣と対面してイロイロ自国の状況を説明し、日本からの資金援助をあおる。

その見返りとして日本からの移民を誘う。曰く、我が国に日本人移民を受け入れる為に移住者用の「家屋」を提供する！ 加えて各家族には一戸当たり豊穡な土地を20～30町歩を提供します。と歯の浮くような好条件を提示したらしい。池田総理はその話を外務省に任せて、自分は日本国内の政治の盛況に、当時の国民一人当たりの所得倍増計画で日本経済の上昇をめざしたらしい。

一方、外務省では総理の指示を「検討して」国交の無いプエルト・リコとは何処にあるの？ 誰に聞いても誰も知らん！ でもって外務省に入った若い職員に、お前「プエルト・リコに行って調べて来なさい！」云々の指示を出して、トルヒーヨ大統領の言ったアレコレを調べに行かせたとか。

昭和 35 年 8 月(1960 年)にワシ等産業開発青年隊第 6 期生(44 名)の乗った大阪商船のアルゼンチナ丸には日本中の炭鉱離職者家族 7 0 0 人以上がいた。

南米移住者のハザマに 5 家族のプエルト・リコ移住者もいたのだ。

話がイロイロ重なるがプエルト・リコに上陸した 5 家族が入植した「土地」は山沿いの傾斜地で、石ころだらけの荒地。加えて酸性土壌で野生の草さえ生えない様な土地だったらしい。

早速開墾していろいろな植物の種を撒いても芽も出ぬ内に枯れて 5 家族の人々はイロイロ頭をひねってプエルト・リコの「地元役場」に交渉に出掛けるも、役人達は一切それ等苦情を受け付けず、答えとして「石灰を撒いて中和すればあ〜」。その石灰はアメリカ・キューバ辺りで扱っている云々。丸々一年経っても何一つ解決の目途も立たず、入植者達はそれぞれブラジルに逃げたり日本に帰国したりして彼の夢観た移住地造成はその後途絶えて、最後に残った 4 家族のみとなった由。

この話の結末を知ったのはピースボートが世界一周の寄り道でプエルト・リコに寄港した際に、現地に残っていた日本人の家族が懐かしや！ とピースボートを訪問してきて初めて「知った」訳である。

ワシは一晩これら日本人達と付き合い、彼等彼女等の悲憤を黙って聴いた。彼等彼女等は挙げて日本政府の裏切り行為を悲憤していた。

カリブ海での話では日本人移住者たちの「悲劇」をアレコレ聴いて、運のある人・運に恵まれぬ人の話に耳を傾けたけど、待てよ！ それは運と諦めて他人事の話と決めて仕舞うには一寸違うような「気もする」。

何故諦める？ それを彼等彼女等に問い掛けると、自分達ではどうにもならん！ と言う。彼等は生きている内に必ず日本政府に同じ日本国民としての裏切り行為の謝罪を目指すとか。



《 朝顔に ^{つるべ}釣瓶取られて 貰い水 》（加賀千代女、かがのちよじょ）

日本の朝顔にはこんな可憐なイメージが込められています。

私の狭い屋敷内に所狭しと、沢山の植木が植えられています。その内の一つが IPOMÉIA（イポメシア、朝顔）です。花の外形は 8 センチで濃い紫色です。

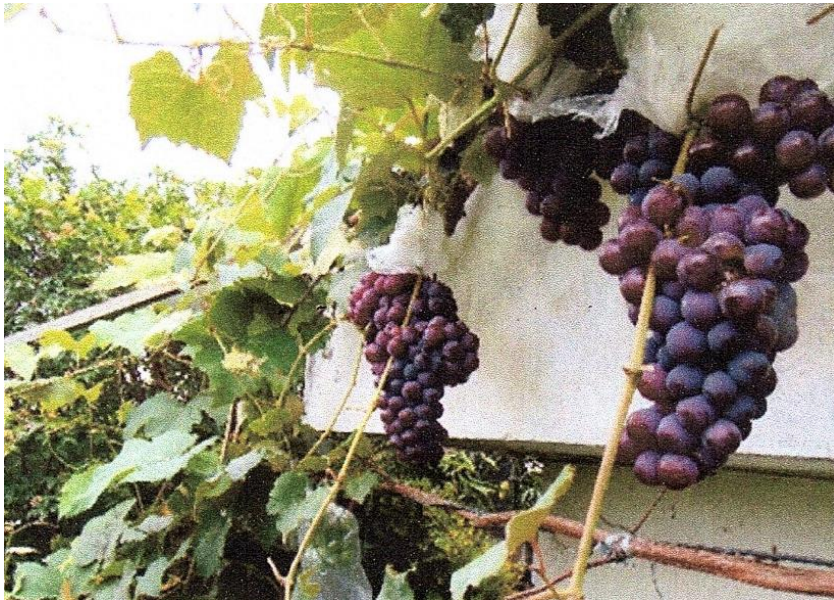
ラッパ状の内部は淡いピンク色で、その内部から四方に放射線状に筋状に幕が広がっている、まったくの日本の朝顔の花です。葉の形も蔓の伸び具合も全く日本の朝顔と同じです、只違うのは種子が着かないことです。此処の日系人はこの朝顔の事を西洋朝顔と呼んでいます。

凄く獰猛で葉が大きく広く、他の植物を抱き込んで枯死させます。根元の近くから新しい蔓が延びて、ずるずる広がってその節々から根が出て繁殖します。私は 200 リッターのプラスチック製のドラム缶を半分に切って、その半分程に土を入れて植えています。それでも蔓がドラム缶の縁を越えて外に伸びて行くので、何時も切っています。

私は裏の狭い庭の片隅にその半分のドラム缶に植えています。そのドラム缶の脇に長さ 6 メートルの径 5 センチの鉄パイプを建てそれに登らせています。3 メートルの塀の上から先 3 メートルに今は毎朝 50 ～ 100 個の朝顔の花が階段の上の踊り場の目の前に鮮やかな紫色の朝顔が毎朝眺められます。

日本の朝顔は節の一節に下から上に一つずつ咲いていきますが、この朝顔は各節に房が出来、その一と房に 10 個位の花芽が出来、それが一日置き位に咲きますので何時までも咲いています。朝早く階段を上がった踊り場で朝顔の咲き具合を見るのが楽しみです。少ない朝は 50 個位で多い朝は 100 以上咲きます。その朝顔の先にはジャバクアラ駅前のビルディングが眺められます。

サンパウロ市内でも時々この朝顔を見ます。NHK テレビ映像でも田舎の廃屋の木立に覆い被さって咲いているこの朝顔の映像を見た覚えがあります。



上：この句の作者の加賀千代女（かがのちよじよ）を描いた歌川国芳の絵画（ウィキペディアから転載）

左上：階段上の踊り場で見える朝顔

左中：ニアガラ・ブドウ（ナイアガラ・ブドウ）

左下：ブドウを持つ家族

此処では一年の内9月から4月位まで毎日毎日咲き続けます。日本の朝顔にはいろいろの花の色がありますがこの朝顔は全て同じ紫の同色を保っています。種子で交配しないので何時までも同色を保っているのだと思います。

これは朝顔から分かれたものだと思いますが、朝顔とは別の種類に属すかと思えます。

この朝顔は朝顔家から分家したものだろうと思われませんが、その極道息子はとんでもない異人種の嫁さんを妻帯したので、朝顔家から破門されてしまったのだろうと考えます。

この極道息子の朝顔の苗を欲しい人がありましたら何時でも差し上げます。

ニアガラ・ブドウ (UVA NIÁGARA)

前頁左下の写真は2階のベランダの後ろの手摺に這わせて収穫したブドウを持っている家族の写真。

左から三女マユミ夫婦、その次が長女ミュキ、その右が次女の夫のミーラー、右は私と女房、写したのは次女のサンドラです。

此処に写っていないのは長女の夫と孫2人で8歳の女の子と15歳の男子。それに、メキシコに住んでいる四女ヒトミ夫婦とその11歳の男の子と15歳の女の子です。これが私の家族全員です。

このブドウは一昨年三女マユミが長期の出張仕事から帰って来てアパートを見たら、ベランダの植木の殆どが瀕死の状態になっているで、これではブドウも実らないし、ユダヤ人女性の小靴も咲かないと考え私の家に持ってきて、植えてくれと頼まれていました。

「ユダヤ人女性の小靴」(Sapatinho de Judia、第210号表紙)の苗木を植える場所は確保していたのですぐに植えました。

ニアガラ・ブドウの方は家の車庫の脇のジャボチカバの木の横に植えて、車庫の上の正面と側面のベランダの手摺に這わせようと思って植えると、ブドウが気に入ってくれてスルスルと枝が伸びて花が咲き、何房かブドウの房が実るでは有りませんか。そして少ない数ですが順調にブドウが収穫できました。

成程これは行けると思い、今年は十分な肥料を施すと予想外に沢山のブドウが実りました。熟れて色づくころ柵の外側と内側に鳥除けのナイロン網を張りました。網を張らないと街中に生息するサビア（モズ科の中型鳥）が食い荒らします。私は3本の4メートル程のジャボチカバの木には実が熟れた時にサビア予防のために掛ける大きな網の袋を作ってあったので役立ちました。

今年は十分な肥料を施したので、ブドウの蔓がするする伸びて、女房の洗濯物干し場に入り込んでしまいました。女房は洗濯の干し場を2階のベランダに移したので2メートル X 3メートルの横型のブドウ棚も確保して蔓を伸ばしたので来年は更に多くの収穫が予想されます。

今年の1月になるまでの天候は異状で雨が多く一向に暑くなりませんでした。例年ですと年末には暑くて眠れない夜がありますが、今年は冷夏で異状でした。去年は正月の我が家の新年会では皆でブドウを千切って食べたのですが、今年は大分熟れるのが遅れました。

それでも1月15日の土曜日にはマユミ夫婦を呼んで近くの長女家族、次女夫婦9人で楽しいブドウの収穫祭をしました。私の向かいの床屋さんの嫁さんは私に何時も変わらない良い挨拶をするので彼女にも少し分けてやりました。

マユミの近くに住んでいる夫の両親（お医者さん）にも沢山のブドウを持たせてやりました。夜2階のサロンの外側のベランダに出ると取り残したブドウの良い匂いがプーンと漂います。

◆

次ページの写真は我が家で咲いた FLOR DA NOITE（フロール・ダ・ノイチ）です。この花には白色のものや橙色のものもありますが、この色のものは葉数が多いので気に入っています。花の直径は15～20センチぐらいです。

2か月まえの11月にも咲いたので今季2度目の開花です。

サンパウロ8期 長田譽歳

FLOR DA NOITE (フロール・ダ・ノイチ) が咲きました

これは夜に咲く花で、1月22日の夜10時頃満開でした。



12時間後の1月23日午前10時にはまだ萎れていませんでした。



肥料を十分施したので、葉と花が多数でしかも大きくなったと思います。◆

【総会のお知らせ】

会長 渡辺進

南青協の定期総会を開催しますので、皆様ふるってご参加ください。

日時：2022年2月20日（日曜日）午前10時から

場所：山形県人会会館会議室

X - - - - - X - - - - - X - - - - - X - - - - - X

【編集委員メールアドレス、ご連絡用電話番号】

そがよしなり
曾我義成

ysoga@rimobloco.com.br

事務所(Escritório) 11-4057-2377

携帯(Tel. Celular) 11-97120-0863

ほんこはらくにひこ

盆子原国彦

kbonkohara@live.jp

おさだたかとし

長田譽歳

takatoshi.osada@gmail.com 自宅(Residência) 11-5563-6929

こやまのぼる

小山徳

tokukoyamano@gmail.com

しかたすすむ

志方進

ssshikata@gmail.com

自宅(Residência) 15-3279-1521

皆様ふるってご投稿ください。ご投稿を受信しましたら、着信通知を発信しておりますが、ご投稿の到着を確認してください。

ご意見、ご提案、お叱りなどもお寄せください。

【名簿訂正】住所や電話番号などを変更された場合は会長または編集委員へお知らせくださるようお願いいたします。

【お願い、お知らせ】次号は4月上旬に発行予定です。

ご投稿は3月21日(月)までをお願い致します。

【編集後記】

今号へも多くの投稿をありがとうございました。

相変わらずのコロナ禍ですが、皆様どうぞお元気でお過ごしください。

